

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 2 月 9 日 (2006.2.9)

【公開番号】特開 2004-115529 (P2004-115529A)
 【公開日】平成 16 年 4 月 15 日 (2004.4.15)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-015
 【出願番号】特願 2003-362606 (P2003-362606)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 38/43 (2006.01)
A 6 1 K 39/395 (2006.01)
A 6 1 P 35/00 (2006.01)
A 6 1 P 35/02 (2006.01)
A 6 1 P 43/00 (2006.01)
C 1 2 Q 1/34 (2006.01)
C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 37/48 Z N A
 A 6 1 K 39/395 H
 A 6 1 P 35/00
 A 6 1 P 35/02
 A 6 1 P 43/00 1 1 1
 C 1 2 Q 1/34
 C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 12 月 19 日 (2005.12.19)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

B 細胞に特異的な表面マーカーに対する抗体に連結した測定可能なリボ核酸分解活性を有する on c タンパク質を含む、選択的細胞傷害性試薬。

【請求項 2】

B 細胞に特異的な表面マーカーに対する抗体に連結した測定可能なリボ核酸分解活性を有する on c タンパク質を含む選択的細胞傷害性試薬であって、該表面マーカーが C D 2 2 である、試薬。

【請求項 3】

B 細胞に特異的な表面マーカーに対する抗体に連結した測定可能なリボ核酸分解活性を有する on c タンパク質を含む選択的細胞傷害性試薬であって、前記表面マーカーが C D 7 4 である、試薬。

【請求項 4】

B 細胞に特異的な表面マーカーに対する抗体に連結した測定可能なリボ核酸分解活性を有する on c タンパク質を含む選択的細胞傷害性試薬であって、前記抗体が L L 1 である、試薬。

【請求項 5】

B 細胞に特異的な細胞表面マーカーに対する抗体に連結した測定可能なリボ核酸分解活

性を有する onc タンパク質を含む選択的細胞傷害性試薬の、悪性 B 細胞を殺傷するための医薬の製造における使用であって、該細胞表面マーカーが CD 22 である、使用。

【請求項 6】

CD 74 に対する抗体に連結した測定可能なリボ核酸分解活性を有する onc タンパク質を含む選択的組換え細胞傷害性試薬の、CD 74 細胞表面マーカーを有する悪性細胞を殺傷するための医薬の製造における、使用。

【請求項 7】

前記殺傷させるべき細胞が、神経芽細胞腫、黒色腫、および骨髄腫からなる群より選択される、請求項 6 に記載の使用。

【請求項 8】

前記細胞表面マーカーが CD 74 である、請求項 6 に記載の使用。

【請求項 9】

前記抗体が LL 1 である、請求項 6 に記載の使用。

【請求項 10】

B 細胞に特異的な細胞表面マーカーに対する抗体に連結した測定可能なリボ核酸分解活性を有する onc タンパク質を含む選択的細胞傷害性試薬を、薬学的に受容可能なキャリアとともに含む薬学的組成物であって、該 onc タンパク質が、配列番号 1 に記載のアミノ酸配列を有し、該細胞表面マーカーが CD 22 である、薬学的組成物。

【請求項 11】

B 細胞に特異的な細胞表面マーカーに対する抗体に連結した測定可能なリボ核酸分解活性を有する onc タンパク質を含む選択的細胞傷害性試薬を、薬学的に受容可能なキャリアとともに含む薬学的組成物であって、該 onc タンパク質が、配列番号 1 に記載のアミノ酸配列を有し、該細胞表面マーカーが CD 74 である、薬学的組成物。

【請求項 12】

前記抗体が LL 1 である、請求項 11 に記載の薬学的組成物。

【請求項 13】

CD 74 に対する抗体に連結した測定可能なリボ核酸分解活性を有する onc タンパク質を含む選択的組換え細胞傷害性試薬を含む、CD 74 細胞表面マーカーを有する悪性細胞を殺傷するための薬学的組成物。

【請求項 14】

前記殺傷させるべき細胞が、神経芽細胞腫、黒色腫、および骨髄腫からなる群より選択される、請求項 13 に記載の薬学的組成物。